

大学院医歯学総合研究科
病院経営人材養成コース
履修要項

2024 年度

東京医科歯科大学大学院

※東京医科歯科大学は東京工業大学と令和6（2024）年10月1日に統合し、
東京科学大学となります。

目 次

1. 「病院経営人材養成コース」カリキュラム	1
2. 2024年度病院経営人材養成コース時間割	3
3. 授業科目の講義内容	
(1) 実践病院経営ワークショップ	8
(2) 財務・会計	9
(3) 診療情報管理学	11
(4) 医療機関リスク管理	13
(5) 医療のTQM	15
(6) 医療政策概論	17
(7) 医療政策各論	19
(8) 病院設計・病院設備	23
(9) 衛生工学・汚染管理	25
(10) 人的資源管理(休講)	27
(11) 医療とリーダーシップ	28
4. 教室案内図	31

「病院経営人材養成コース」 カリキュラム

【1】開設科目一覧

科目名	必修／選択	単位数	時間数
実践病院経営ワークショップ※1	必修	—	10h
財務・会計	必修	1	15h
診療情報管理学	必修	1	15h
医療機関リスク管理※2	選択必修	1	15h
医療のTQM※2	選択必修	1	15h
医療政策概論	選択	1	15h
医療政策各論	選択	2	30h
病院設計・病院設備	選択	1	15h
衛生工学・汚染管理	選択	1	15h
人的資源管理（休講）	選択	1	15h
医療とリーダーシップ	選択	1	15h

※1 実践病院経営ワークショップ以外は医歯学総合研究科修士課程 MMA コース開設科目

※2 いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

【2】修了要件

必修科目（40時間）、選択必修科目（15時間以上）を含めて合計85時間（5単位）以上を履修すること。

【3】修業年限

1年（ただし、勤務状況により複数年かけての受講を希望する場合は履修登録時にその旨を申し出ること）

【4】履修対象者

将来的に大学病院等での経営に携わる意欲のある医師管理職、一般医師、医療従事者、医療事務職。

なお、大学院修士課程に相当するカリキュラムであるため、学部卒業程度の学歴があることを出願要件とする。

【5】2024年度授業方針

病院経営人材養成コースにおいては、以下のとおり実施します。
新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として遠隔講義を行ってきたが、今後、対策は関係なく幅広い社会人学生の参加を考慮するという理由から遠隔講義を引き続き実施す

ることとしたい。ただし、実習等のため対面講義が必要な場合は適宜取り入れることとする。

この方針は今後の情勢により変更することもあります。

今後更新があった場合には大学ウェブサイト等で最新情報をお知らせする予定です。

【感染予防に係る留意事項】

- ・手洗い、換気、マスクの効果的な場面での着用、咳エチケットなど、基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- ・下記出席停止基準に抵触する、または抵触しないものの体調がすぐれない場合は登校せず、すみやかに「[学部生・大学院生向けの登校を控える症状・状況と報告と対応方法](#)」に従って「[登校を控える状況発生 Forms](#)」から大学および指導教員に報告を行ってください。後日、欠席届を大学院教務第二係へ提出してください。

なお、新型コロナウイルス感染症以外の学校感染症（インフルエンザなど）の診断を受けている場合は、「[学校感染症 初回報告 Forms](#)」の回答を行い、Forms に示された内容に沿ってください。

【出席停止の判断基準】

1. 体温 37.5℃以上があり、咽頭痛（違和感を含む）・咳のどちらかがある
2. 周囲に COVID-19 陽性者がいて、自身にも風邪症状（発熱・咽頭痛・咳・倦怠感・鼻汁・頭痛など）がある
3. 症状があり、検査にて COVID-19 陽性が判明した
4. 無症状だが、定期検査などで検査受けたら COVID-19 陽性が判明した

※周囲に COVID-19 陽性がいるが、自身は無症状の場合

無症状の間は、通常登校可です。大学への報告は不要です。健康観察に留意し、症状が出た際は、登校を控えて、下記沿って報告してください。

各種 HP は以下のとおりです。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う本学の対応：

<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/cov/>

保健管理センター「新型コロナウイルス感染症関連」：

<https://www.tmd.ac.jp/hsc/covid/>

「学部生・大学院生向けの登校を控える症状・状況における報告と対応方法」：

https://www.tmd.ac.jp/files/topics/55184_ext_19_4.pdf

「登校を控える状況発生報告 Forms」

「学校感染症 初回報告 Forms」



2024年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

 Zoomによるリアルタイム遠隔講義

 対面講義

 ハイフレックス型講義（Zoomによるリアルタイム遠隔講義および対面講義併行）

 Web classへ講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	13:00-18:00
4月1日	月			
4月2日	火			
4月3日	水			
4月4日	木			
4月5日	金			
4月6日	土			
4月7日	日			
4月8日	月			
4月9日	火			
4月10日	水	★4105 医療政策概論1	★4105 医療政策概論2	
4月11日	木	★4105 医療政策概論3	★4105 医療政策概論4	
4月12日	金			
4月13日	土			
4月14日	日			
4月15日	月	★4105 医療政策概論5	★4105 医療政策概論6	
4月16日	火			
4月17日	水	★4105 医療政策概論7	★4105 医療政策概論8	
4月18日	木			
4月19日	金			
4月20日	土			
4月21日	日			
4月22日	月			
4月23日	火			
4月24日	水			
4月25日	木			
4月26日	金			
4月27日	土			
4月28日	日			
4月29日	月			
4月30日	火			
5月1日	水			
5月2日	木			
5月3日	金			
5月4日	土			
5月5日	日			
5月6日	月			
5月7日	火			
5月8日	水	★4106 医療政策各論1	★4106 医療政策各論2	
5月9日	木			
5月10日	金			
5月11日	土			
5月12日	日			
5月13日	月			
5月14日	火			
5月15日	水	★4106 医療政策各論3	★4106 医療政策各論4	
5月16日	木			
5月17日	金			

2024年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

 Zoomによるリアルタイム遠隔講義

 対面講義

 ハイフレックス型講義（Zoomによるリアルタイム遠隔講義および対面講義併行）

 Web classへ講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	13:00-18:00
5月18日	土			
5月19日	日			
5月20日	月			
5月21日	火			
5月22日	水	★4106 医療政策各論5	★4106 医療政策各論6	
5月23日	木			
5月24日	金			
5月25日	土			
5月26日	日			
5月27日	月	☆★4022 医療機関リスク管理1 ※	☆★4022 医療機関リスク管理2 ※	
5月28日	火			
5月29日	水	☆★4022 医療機関リスク管理3 ※	☆★4022 医療機関リスク管理4 ※	
5月30日	木	☆★4022 医療機関リスク管理5 ※	☆★4022 医療機関リスク管理6 ※	
5月31日	金	☆★4022 医療機関リスク管理7 ※	☆★4022 医療機関リスク管理8 ※	
6月1日	土			
6月2日	日			
6月3日	月			
6月4日	火			
6月5日	水	★4106 医療政策各論7	★4106 医療政策各論8	
6月6日	木			
6月7日	金			
6月8日	土			
6月9日	日			
6月10日	月			
6月11日	火			
6月12日	水			
6月13日	木			
6月14日	金			
6月15日	土			
6月16日	日			●実践病院経営ワークショップ
6月17日	月			
6月18日	火			
6月19日	水			
6月20日	木			
6月21日	金			
6月22日	土			
6月23日	日			
6月24日	月			
6月25日	火			
6月26日	水			
6月27日	木			
6月28日	金			
6月29日	土			
6月30日	日			
7月1日	月			
7月2日	火			
7月3日	水	★4106 医療政策各論9	★4106 医療政策各論10	
7月4日	木			
7月5日	金			

2024年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1 時限は18:00~19:30、2時限は19:40~21:10

Zoomによるリアルタイム遠隔講義

対面講義

ハイフレックス型講義（Zoomによるリアルタイム遠隔講義および対面講義併行）

Web classへ講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	13:00-18:00
7月6日	土			
7月7日	日			
7月8日	月			
7月9日	火			
7月10日	水			
7月11日	木			
7月12日	金			
7月13日	土			
7月14日	日			
7月15日	月			
7月16日	火	☆4042 診療情報管理学1	☆4042 診療情報管理学2	
7月17日	水	☆4042 診療情報管理学3	☆4042 診療情報管理学4	
7月18日	木	☆4042 診療情報管理学5	☆4042 診療情報管理学6	
7月19日	金	☆4042 診療情報管理学7	☆4042 診療情報管理学8	
7月20日	土			
7月21日	日			
7月22日	月	★4104 医療とリーダーシップ1	★4104 医療とリーダーシップ2	
7月23日	火	★4104 医療とリーダーシップ3	★4104 医療とリーダーシップ4	
7月24日	水	★4106 医療政策各論1 1	★4106 医療政策各論1 2	
7月25日	木	★4104 医療とリーダーシップ5	★4104 医療とリーダーシップ6	
7月26日	金			
7月27日	土			
7月28日	日			
7月29日	月	★4104 医療とリーダーシップ7	★4104 医療とリーダーシップ8	
7月30日	火	★4106 医療政策各論1 3	★4106 医療政策各論1 4	
7月31日	水	★4106 医療政策各論1 5	★4106 医療政策各論1 6	
8月1日	木			
8月2日	金			
8月3日	土			
8月4日	日			
8月5日	月			
8月6日	火			
8月7日	水			
8月8日	木			
8月9日	金			
8月10日	土			
8月11日	日			
8月12日	月			
8月13日	火			
8月14日	水			
8月15日	木			
8月16日	金			
8月17日	土			
8月18日	日			
8月19日	月			
8月20日	火			
8月21日	水			
8月22日	木			
8月23日	金			
8月24日	土			
8月25日	日			

2024年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1 時限は18：00～19：30、2時限は19：40～21：10

Zoomによるリアルタイム遠隔講義

対面講義

ハイフレックス型講義（Zoomによるリアルタイム遠隔講義および対面講義併行）

Web classへ講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	13:00-18:00
8月26日	月			
8月27日	火			
8月28日	水			
8月29日	木			
8月30日	金			
8月31日	土			
9月1日	日			
9月2日	月			
9月3日	火			
9月4日	水			
9月5日	木			
9月6日	金			
9月7日	土			
9月8日	日			
9月9日	月			
9月10日	火			
9月11日	水			
9月12日	木			
9月13日	金			
9月14日	土			
9月15日	日			
9月16日	月			
9月17日	火			
9月18日	水			
9月19日	木	★4061 病院設計・病院設備1	★4061 病院設計・病院設備2	
9月20日	金	★4061 病院設計・病院設備3	★4061 病院設計・病院設備4	
9月21日	土			
9月22日	日			
9月23日	月			
9月24日	火	★4061 病院設計・病院設備5	★4061 病院設計・病院設備6	
9月25日	水	★4061 病院設計・病院設備7	★4061 病院設計・病院設備8	
9月26日	木			
9月27日	金			
9月28日	土			
9月29日	日			
9月30日	月	★4062 衛生工学・汚染管理1	★4062 衛生工学・汚染管理2	
10月1日	火	★4062 衛生工学・汚染管理3	★4062 衛生工学・汚染管理4	
10月2日	水	★4062 衛生工学・汚染管理5	★4062 衛生工学・汚染管理6	
10月3日	木	★4062 衛生工学・汚染管理7	★4062 衛生工学・汚染管理8	
10月4日	金			
10月5日	土			
10月6日	日			
10月7日	月			
10月8日	火			
10月9日	水			
10月10日	木			
10月11日	金			
10月12日	土			
10月13日	日			
10月14日	月			
10月15日	火	☆4072 財務・会計1	☆4072 財務・会計2	
10月16日	水	☆4072 財務・会計3	☆4072 財務・会計4	
10月17日	木	☆4072 財務・会計5	☆4072 財務・会計6	
10月18日	金	☆4072 財務・会計7	☆4072 財務・会計8	

2024年度 病院経営人材養成コース授業科目時間割

1 時限は18：00～19：30、2時限は19：40～21：10

 Zoomによるリアルタイム遠隔講義

 対面講義

 ハイフレックス型講義（Zoomによるリアルタイム遠隔講義および対面講義併行）

 Web classへ講義動画アップロード

※：いずれか1科目以上を選択し、履修登録すること。

☆：必修科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

★：選択科目（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

☆★：選択必修（大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻医療管理政策学（MMA）コース科目）

●：必修科目：ワークショップ形式による学習成果発表と総合討論

月日	曜日	1 18:00-19:30	2 19:40-21:10	13:00-18:00
10月19日	土			
10月20日	日			
10月21日	月			
10月22日	火			
10月23日	水			
10月24日	木			
10月25日	金			
10月26日	土			
10月27日	日			
10月28日	月			
10月29日	火			
10月30日	水			
10月31日	木			
11月1日	金			
11月2日	土			
11月3日	日			
11月4日	月			
11月5日	火			
11月6日	水			
11月7日	木			
11月8日	金			
11月9日	土			
11月10日	日			
11月11日	月			
11月12日	火			
11月13日	水			
11月14日	木			
11月15日	金			
11月16日	土			
11月17日	日			
11月18日	月	☆★4023 医療のTQM1 ※	☆★4023 医療のTQM2 ※	
11月19日	火	☆★4023 医療のTQM3 ※	☆★4023 医療のTQM4 ※	
11月20日	水	☆★4023 医療のTQM5 ※	☆★4023 医療のTQM6 ※	
11月21日	木	☆★4023 医療のTQM7 ※	☆★4023 医療のTQM8 ※	
11月22日	金			
11月23日	土			
11月24日	日			
11月25日	月			
11月26日	火			
11月27日	水			
11月28日	木			
11月29日	金			
11月30日	土			
12月1日	日			
12月2日	月			
12月3日	火			
12月4日	水			
12月5日	木			
12月6日	金			
12月7日	土			
12月8日	日			●実践病院経営ワークショップ
12月9日	月			
12月10日	火			
12月11日	水			
12月12日	木			
12月13日	金			

時間割番号	-				
科目名	実践病院経営ワークショップ	科目ID	-		
担当教員	伏見 清秀, 岡田 就将[FUSHIMI KIYOHID, OKADA SYUSYO]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1~		10 時間
全て日本語で行う。					
主な講義場所 M&D タワー2 階 共用講義室2					
授業の目的、概要等 授業目的： 「実践病院経営ワークショップ」としてのケーススタディを実施する。病院経営の実績豊富な病院幹部経験者等がファシリテーター役を担って、病院幹部候補者である受講生が各自の病院事例を持ち寄り、認識されている諸課題を呈示して議論を深める。様々な課題について、それぞれの病院の固有の課題と共通性を持つ課題の整理を行い、病院固有の課題に関しては、他の受講者が第三者的な立場から意見を述べ、課題呈示者が解決への方策を考察する。一方、共通する課題に関しては、他の受講者の類似事例も併せて呈示し、問題点を整理の上、課題への対応手法を共有し、自身の病院での対応策を考察する。 概要： 第 1 日：受講者個別病院の課題に関するケーススタディと、問題点の本質に関する相互討論 第 2 日：受講者個別病院の課題に関するケーススタディとして、本プログラムで学習した成果を反映した形での課題解決策を相互に提示し、合同討論を行う。					
授業の到達目標 ・ 個別病院の医療データを用いて、包括的な課題を明らかにすることができる能力を身につける。 ・ 様々な課題に対して、その解決のための具体的な手順を提案し、PDCA 手法に基づく実行を主導することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/16	13:00-18:00	共用講義室2	受講者各自が病院事例を持ち寄り認識されている諸課題について発表を行う。年間の授業成果を活かして分析、検討を行うべく、各自年間検討課題等を設定する	伏見 清秀 岡田 就将
2	12/8	13:00-18:00	共用講義室2	年間の学習内容を総括し、課題研究等について発表を行う。参加者とともにディスカッションを行い自施設での応用などにつき議論を深める。	伏見 清秀 岡田 就将
授業方法 講義・演習(受講者からの発表を含む)形式による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 出席(20%)、発表内容(40%)および討論参加(40%)を総合的に評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 第 1 回ワークショップ：「自院の紹介および自院の病院経営上の諸課題について」をテーマとし、発表資料をパワーポイントで作成。様式任意。発表時間10分間。その後20分間の質疑応答に対応する準備をしておくことが望ましい。発表資料は、ワークショップ 1 週間前までに E-mailで次のアドレス宛に送付すること。 E-mail アドレス:grad02@ml.tmd.ac.jp 件名:実践病院経営ワークショップ課題提出 第 2 回ワークショップ：メールにて詳細を連絡する。					
履修上の注意事項 特になし。					
連絡先(メールアドレス) 伏見 清秀: kfushimi.hci@tmd.ac.jp 岡田 就将: sokdhcm@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 伏見 清秀:毎週月、火、水、金曜日午前 10 時から午後 4 時 MD タワー15 階 S1560 教授室 岡田 就将:毎週水曜日PM1:00-PM3:00 MDタワー16 階南 事前にご連絡ください。					

時間割番号	031625				
科目名	財務・会計	科目ID	GA—b4072-L		
担当教員	伏見 清秀, 荒井 耕[FUSHIMI KIYOHIDE, ARAI KO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1~	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 遠隔講義(同期型)					
授業の目的、概要等 授業目的 医療界における会計について理解を深める。 概要 まず会計の基本としての財務諸表の見方について講義する。次いで、管理会計の基礎的内容について講義し、責任センターマネジメントとしての管理会計、戦略遂行マネジメントとしての管理会計(医療界におけるバランスト・スコアカード)、経営情報マネジメントとしての管理会計(医療界における原価計算)について詳細に議論する。					
授業の到達目標 伝統的に産業界で活用されてきた各種の会計手法の医療界での活用可能性と修正すべき点について、しっかりと考察できるようになることを目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/15	18:00-21:10	遠隔授業 (同期型)	財務諸表の見方	阪口 博政
2	10/16	18:00-21:10	遠隔授業 (同期型)	管理会計の基礎/医療界における責任センターマネジメントとしての管理会計	阪口 博政
3	10/17	18:00-21:10	遠隔授業 (同期型)	医療界におけるバランスト・スコアカード	渡邊 亮
4	10/18	18:00-21:10	遠隔授業 (同期型)	医療界における原価計算	荒井 耕
授業方法 講義形式による。					
授業内容 ① 財務諸表の見方(電卓持参のこと) ② 管理会計の基礎と医療界における責任センターマネジメントとしての管理会計 ③ 医療界におけるバランスト・スコアカード ④ 医療界における原価計算					
成績評価の方法 参加状況(最低2回)と授業及び教科書の熟読を踏まえた上での医療管理会計に関するレポートで評価。					
準備学習等についての具体的な指示 あらかじめ教科書(特に、2009年、2013年、2019年)をよんでおくこと。					
教科書 荒井 耕「医療バランスト・スコアカード:英米の展開と日本の挑戦」(中央経済社)2005年 荒井 耕「医療原価計算:先駆的な英米医療界からの示唆」(中央経済社)2007年 荒井 耕「病院原価計算:医療制度適応への経営変革」(中央経済社)2009年 荒井 耕「医療サービス価値企画:診療プロトコル開発を通じた費用対成果の追求」(中央経済社)2011年 荒井 耕「病院管理会計:持続的経営による地域医療への貢献」(中央経済社)2013年 荒井 耕「病院管理会計の効果検証:質が高く効率的な医療の実現に向けて」(中央経済社)2019年					

荒井 耕「病院の財務実態:多角経営時代の医療法人」(中央経済社)2021 年

荒井 耕「新型コロナ流行初期における医療機関の財務的影響:将来の新興感染症流行に備えた歴史的教訓」(中央経済社)2023 年

履修上の注意事項

「7.1 戦略と組織」の授業をよく理解しておくとい。

連絡先(メールアドレス)

荒井 耕ko.arai@r.hit-u.ac.jp

オフィスアワー

荒井 耕科目担当者にメールで相談すること。

時間割番号	031617				
科目名	診療情報管理学	科目ID	GA—b4042-L		
担当教員	伏見 清秀, 阿南 誠, 清水 沙友里, 桑原 比呂世[FUSHIMI KYOHIDE, ANANN Makoto, SHIMIZU SAYURI, KUWABARA Hiroyo]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1~	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所					
7/16, 7/18 遠隔講義(同期型)					
7/17, 7/19 ハイフレックス型講義(遠隔講義(同期型)と対面講義併行)					
授業の目的、概要等					
授業目的 診療情報その管理の概要を理解するとともに、診療情報を活用した様々な医療評価手法を理解することを目的とする。					
概要 診療情報管理、診断群分類、包括評価、厚生統計等に関する最新の資料を配付し、プレゼンテーションを用いて講義を行った上で、質疑応答や学生の実務上の経験や意見に基づく討論等で理解を深める。配布使用予定の資料としては、ICD10 コーディングのガイドライン、診断群分類 DPC に関する中医協資料抜粋と厚生労働省研究班報告書抜粋、包括評価対応のためのマニュアル、厚生労働省諸統計の概要と研究報告書抜粋、諸論文の抜粋等を予定している。					
授業の到達目標					
① 診療情報管理の概念とその実務を理解すること。 ② 診断群分類および包括評価の概念と実務およびそれらの医療管理評価への応用を理解すること。 ③ 診療情報、統計情報等のデータマネージメントと研究的活用方法を理解すること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	7/16	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	診療情報管理の基礎・診療情報分析総論	伏見 清秀, 阿南 誠
2	7/17	18:00-21:10	遠隔授業(同期型), 共用講義室 1	医療情報の標準化とDPC診断群分類包括評価	伏見 清秀
3	7/18	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	DPC データと診療情報分析手法	清水 沙友里, 桑原 比呂世
4	7/19	18:00-21:10	遠隔授業(同期型), 共用講義室 1	診療情報を用いた医療評価	伏見 清秀
授業方法					
講義形式による。					
授業内容					
第1日:診療情報管理総論、診療録管理の理論と実務、傷病名コーディングの理論と実務、診療報酬関連情報管理の実務、診断群分類の導入と効率的診療情報管理等に関する講義と討論(阿南講師)					
第2日:診断群分類の理論と国際比較、日本版診断群分類 DPC と包括評価の理論と実務、診断群分類を用いた医療管理の理論と実際等に関する講義と討論					
第3日: DPC データの構造と意味(清水講師)、DPC データ等の医療業務データの分析手法(桑原講師)					
第4日:診断群分類を用いた医療の評価、我が国の医療提供体制の評価への診断群分類の応用、地域医療資源配分計画法、地域保健医療計画と診断群分類等に関する講義と討論					
成績評価の方法					
成績評価は提出レポート内容(50点)と参加状況(50点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
診療記録関連の法的背景、診療録の電子記録、診療記録の作成技法等については触れる時間がほとんど無いため、他講または参考書にてその概略を理解しておくことが望ましい。					
参考書					

「診療情報による医療評価. DPC データから見る医療の質」.(東京大学出版会)「DPCデータ活用ブック・第二版」(じほう社)「21世紀の医療と診断群分類」(じほう社)「DPCと病院マネジメント」(じほう社)「疾病、傷害および死因統計分類提要」第2巻(厚生統計協会)「経営力・診療力を高める DPC データ活用術」(日経ヘルスケア). 等

他科目との関連

医療提供体制の設計と評価の点で「1.1 医療提供政策論」と、診療情報の電子化や病院システムとの関連で「4.1病院情報管理学」と関連すると考えられる。

連絡先(メールアドレス)

伏見 清秀:kfushimi.hci@tmd.ac.jp

桑原 比呂世:bxk03410@nifty.com

清水 沙友里:sshihci@gmail.com

阿南 誠:mako@mw.kawasaki-m.ac.jp

オフィスアワー

伏見 清秀:毎週月、火、水、金曜日午前 10 時から午後 4 時 MD タワー15 階 S1560 教授室

時間割番号	031610				
科目名	医療機関リスク管理	科目ID	GA—b4022-L		
担当教員	工藤 篤, 永田 将司, 具 芳明, 植木 穰[KUDO ATSUSHI, NAGATA MASASHI, GU Yoshiaki, UEKI Yutaka]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1~	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所					
対面授業(M&D タワー2階 共用講義室1)					
授業の目的、概要等					
授業目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・大学病院における医療リスク管理とメディカルリスク分析 ・インシデントレポート分析 ・医療機関における感染症対策、クライシスマネジメント ・医薬品の適正使用 					
医療機関における医療安全管理とそのシステム構築について講述する。安全管理レポート、医療安全管理委員会、医薬品の適正使用、高難度新規医療技術の評価、監査委員会、医療事故調査委員会、医療事故調査制度の役割と限界、について講義を行う。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関におけるリスクマネジメントの実際を理解し、メディカルリスクマネジメントの手法を学ぶ。 ・医薬品の関わるリスクと安全対策を理解する。 ・医療機関における感染症対策と危機管理を理解する。 ・医療機関におけるクライシスマネジメントを理解する。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/27	18:00-21:10	共用講義室1	院内感染対策と危機管理	具 芳明
2	5/29	18:00-21:10	共用講義室1	医薬品の安全管理	永田 将司
3	5/30	18:00-21:10	共用講義室1	災害における危機管理	植木 穰
4	5/31	18:00-21:10	共用講義室1	病院における医療安全管理	工藤 篤
授業方法					
講義形式による。					
授業内容					
別表のとおり。					
成績評価の方法					
討議、議論への参加状況や、発表・発言等といった参画状況を判断し総合的に評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
特になし。					
教科書					
特になし。					
参考書					
米国医療の質委員会／医学研究所「人は誰でも間違える」(日本評論社)					
中島和江、児玉安司「ヘルスケアマネジメント」(医学書院)					
河野龍太郎「医療におけるヒューマンエラー」(医学書院)					
他科目との関連					
「2.1 医療と社会の安全管理」が国全体もしくは社会の安全管理を主として論ずるのに対し、本講では医療機関レベルでの問題にフォーカスを絞って述べる予定である。					
連絡先(メールアドレス)					
工藤 篤,bunshigeaka.msrg@tmd.ac.jp					

オフィスアワー

工藤 篤 毎週火曜日 13-16 時 M&D タワー12 階 北 肝胆膵外科 准教授室

時間割番号	031611				
科目名	医療のTQM	科目ID	GA—b4023-L		
担当教員	伏見 清秀, 本橋 隆子, 小林 美亜[FUSHIMI KIYOHIDE, MOTOHASHI TAKAKO, Kobayashi Mia]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 遠隔講義(同期型)あるいは対面講義					
授業の目的、概要等 授業目的 医療の質保証活動である TQM の方法論およびクリニカルパスについての理解を深める。 概要 日本においても医療の質についての議論が行われるようになってきているが、社会が納得できるような意味での質保証は未だ十分には行われていない。ここでは、医療における質保証の基本的な方法論について習得し、またそれを実践する上での問題点について検討する。					
授業の到達目標 ① 医療の質の要素について理解を深める。 ② 医療の質保証の方法論とクリニカルパスについて修得する。 ③ 日本における医療の質保証の現状について説明する。 ④ 今後の医療におけるTQMの活動について議論できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	11/18	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	医療の質評価とPDCA	本橋 隆子
2	11/19	18:00-21:10	大学院講義室2	グループワーク	本橋 隆子
3	11/20	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	発表会討論	本橋 隆子
4	11/21	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	クリニカルパス	小林 美亜
授業方法 講義形式および演習(ケーススタディー)による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 成績評価は、参加状況(50点)および講義中に課す演習の評価(50点)の総合評価による。					
準備学習等についての具体的な指示 教科書および参考書などに目を通しておくこと。また、医療機関におけるTQM活動について情報収集しておくこと。					
教科書 ・上原、黒田、飯塚、棟近、小柳津「医療の質マネジメント～医療機関における ISO 9001 の活用～」(日本規格協会)2003 年 ・飯塚、棟近、上原「医療の質マネジメントシステム～医療機関必携 質向上につながる ISO 導入ガイド」(日本規格協会)2006 年					
参考書 ・高瀬、阿部 編「エビデンスに基づくクリニカルパス～これからの医療記録とヴァリアンス分析～」(医学書院)2000 年 ・日本クリニカルパス学会編「クリニカルパス用語解説集 題2版」(サイエンティスト社)2019 年 ・飯田修平「医療における総合的質経営」(日科技連)2003 年 ・飯田修平、飯塚悦功、棟近雅彦 監修「医療の質用語事典」(日本規格協会)2005 年 ・飯塚悦功、棟近雅彦、上原鳴夫監修「医療の質マネジメントシステム～医療機関必携 質向上につながる ISO 導入ガイド～」(日本規格協会)2006 年 ・飯塚悦功、水流聡子「医療品質経営」(医療企画)2010 年 その他必要に応じて指示する。					

他科目との関連

系2の「医療の質の確保とリスク管理」全般との関連も深いですが、系10の「臨床研究・治験」との関連もある。

参照ホームページ

医療管理の中核をなす科目であるため、十分に習得すること。

連絡先(メールアドレス)

伏見 清秀 kfushimi.hci@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伏見 清秀:毎週月、火、水、金曜日午前 10 時から午後 4 時 MD タワー15 階 S1560 教授室

時間割番号	031601					
科目名	医療政策概論			科目ID	GA—b4027-L	
担当教員	岡田 就将, 伊角 彩, 土井 理美, 佐藤 大介, 堀 義明[OKADA Shuushou, ISUMI Aya, DOI Satomi, SATOU Daisuke, HORI Yoshiaki]					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1	
実務経験のある教員による授業						
全て日本語で行う。						
主な講義場所 対面授業と遠隔(同期型)を組み合わせて実施する。						
授業の目的、概要等 授業目的・概要 本科目はMMAコースの冒頭に配置されており、その目的は医療政策全般の理解への足場づくりである。 わが国の医療は、国民皆保険など諸制度の下で提供されている。同時に、通知なども含めれば、これらの制度は医療技術の進歩や社会情勢の変化に合わせ、絶え間なく見直しがなされている。常に見直しがなされていること、そのこと自体が医療政策の特徴と言える。また、医療政策は、学術的には公衆衛生学・医学、法学、行政学、財政学など独立した学術体系がオーバーラップする領域に位置している。そして各国の医療制度は、それぞれの社会文化政治を背景に多岐に富んでいるが、このことは人々の生活や健康に直結し、政治的関心も高く、財政的にも影響が大きいことの現れである。 こうした背景から、今後、医療政策を正しく理解し、その提案者となるにあたっては、幅広く情報収集し、収集した情報を分析、解釈し、それに立脚した政策を検討し、他者にわかりやすく説明することが不可欠である。 本科目では、この先への足場づくりとして、わが国の医療提供を形作る諸制度に関する理解を得たうえで、医療政策の実施に不可欠であるステークホルダーとの折衝をイメージしたグループワークを取り入れた講義を展開する。						
授業の到達目標 ・わが国の医療提供を支える基本的な制度について理解している。 ・医療政策に関わるステークホルダーについて理解している。 ・近年の医療政策の方向性について理解している。 ・医療政策の見直しのために必要なプロセスについて理解している。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	18:00-19:30	共用講義室1	医療制度概論①	医療を形作る諸制度 医療政策の形成過程	岡田 就将
2	4/10	19:40-21:10	共用講義室1	医療政策課題に関するグループワーク		岡田 就将, 伊角 彩, 土井 理美
3	4/11	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	医療政策概論② 公的医療データ基盤の現状	厚生労働省医系技官・鈴木里彩氏を交えて、公的医療データ利用の最新状況を考える	岡田 就将
4	4/11	19:40-21:10	遠隔授業(同期型)	医療政策研究の進め方		岡田 就将, 伊角 彩, 土井 理美
5-6	4/15	18:00-21:10	共用講義室1	医療政策課題に関するグループワーク		岡田 就将, 伊角 彩, 土井 理美
7	4/17	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	2024 年度からの病院経営環境と地域医療構想	佐藤大介氏(藤田保健衛生大学教授)を交えて、ポストコロナの病院経営環境・地域医療構想・病院の機能転換・再編統合を考える。	岡田 就将, 佐藤 大介
8	4/17	19:40-21:10	遠隔授業(同期型)	歯科医療を取り巻く政策動向	厚生労働省医系技官・堀義明氏を交えて、歯科保健政策、歯科診療報酬政策等を考える	岡田 就将, 堀 義明

授業方法
講義、グループワーク、発表、総合討論、レポートなどを行う。
授業内容
医療政策、公衆衛生、医療提供体制、医療保険制度、政策研究、医療機関経営、グループディスカッション
成績評価の方法
成績評価は、講義への出席(50点)および総合討議等への参加状況(30点)、レポート(20点)を総合して評価する。
成績評価の基準
上記合計で60点以上(100点満点)を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示
マスメディアの情報も含めて、昨今の医療およびその周辺分野の状況を書籍・インターネット等で調べておく。
試験の受験資格
講義日の過半数出席の場合に受験資格を認める。
構成ユニット
医療政策、公衆衛生、医療提供体制、医療保険制度、政策研究、医療機関経営、グループディスカッション
モジュールの単位判定
成績評価は、テスト結果または提出されたレポートや発表の内容(30点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(70点)を総合して評価する。
教科書
特になし。
参考書
①「日本の医療 制度と政策(増補改訂版)」島崎謙治(東京大学出版会)
②「公衆衛生の思想」多田羅浩三(医学書院)
③「日本の医療と介護」池上直樹(日本経済新聞出版社)
④「この国の医療のかたち 医療政策の動向と課題 2025年のヘルスケアシステム」尾形裕也(日本看護協会出版部)
⑤「ビッグデータと事例で考える日本の医療・介護の未来」松田晋也(勁草書房)
⑥「医療経済学の基礎理論と論点 講座 医療経済・政策学」第1巻～第6巻(勁草書房)
⑦「医療経営学」今村知明、康永秀生他(医学書院)
⑧「もっと気になる社会保障」権文善一(勁草書房)
⑨「戦後医療の五十年」有岡二郎(日本医事新報社)
⑩「戦後行政の構造とディレンマ 予防接種行政の変遷」手塚洋輔(藤原書店)
⑪「物語 介護保険」大熊由紀子(岩波書店)
⑫「精神保健学 序説」篠崎英夫(へるす出版)
その他必要に応じて指示する。
他科目との関連
「医療保険論」等と関連する。
履修上の注意事項
講義中の質問や意見、総合討論などには積極的な参加が望まれる。
備考
連絡先(メールアドレス)
岡田 就将:sokd.hcm@tmd.ac.jp
オフィスアワー
岡田 就将:毎週水曜日PM1:00-PM3:00 MDタワー16階南 事前にご連絡ください。

時間割番号	031606					
科目名	医療政策各論	科目ID	GA—b4028—L			
担当教員	岡田 就将, 伊角 彩, 土井 理美, 小嶋 秀卓, 林 修一郎, 原澤 朋史, 古元 重和, 木下 栄作, 寺谷 俊康, 高山 啓, 田中 彰子, 渭原 克仁, 山崎 晋一郎, 一戸 和成, 具 芳明, 前田 俊輔, 吉村 健佑, 佐藤 理[OKADA Shuushou, ISUMI Aya, DOI Satomi, KOJIMA Hidetaka, HAYASHI Shuichiroh, HARASAWA Tomofumi, KOMOTO Shigekazu, KINOSHITA Eisaku, TERATANI Toshiyasu, TAKAYAMA Kei, TANAKA Akiko, IHARA Katsuhiko, YAMAZAKI Shinichiroh, ICHINOHE Kazushige, GU Yoshiaki, MAEDA Shunsuke, YOSHIMURA Kensuke, SATOH Osamu]					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	2	
実務経験のある教員による授業						
全て日本語で行う。						
主な講義場所						
基本的には、遠隔講義(同期型)と対面授業を併用する。対面授業とする場合には予め周知する。現時点では、5/8(水)、6/5(水)、7/31(水)は対面授業とする予定である。						
授業の目的、概要等						
授業目的及び概要						
<p>医療法に基づき、都道府県は医療計画を定めることとされている。本計画では、基準病床の設定などのほか、域内において政策医療をどのように提供するかも定めなくてはならない。2024 年度からの第 8 次医療計画においては、今般のコロナ感染症の流行を踏まえ「新興感染症等の感染拡大時における医療」も加えた5疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患)、6事業(救急、災害、へき地、周産期、小児、新興感染症等)及び在宅医療がその対象となる。他方、医療提供体制の政策枠組みとして、医療計画と別に、個々の疾患特性等に着目した政策枠組み(主に厚労省健康局等で主導)も存在しており、医療提供体制を理解するためには両者の理解が不可欠である。特に、後者は病院や医療従事者の配置のみならず、研究開発や従事者研修、各種補助事業などニーズベースでの政策が展開されており、我が国の医療政策の特徴ともいえる。こうした云わば政策の“縦糸”とともに、我が国の医療を形づくるもう一つの特徴は、公的医療保険制度の基礎となる診療報酬制度である。この“横糸”は厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保険医療協議会(中医協)における議論を経て、2年に一度、改定され、きめ細かな報酬上の評価により、我が国の医療を支える仕組みとなっている。</p> <p>本科目では、縦糸である医療提供を担保する諸制度と、横糸である診療報酬制度の理解を踏まえつつ、これら諸制度の企画立案の当事者(及び経験者)として第一線で活躍している行政官、識者の講話を交えながら展開する。</p>						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・医療計画制度の沿革や意義、具体的な内容について理解する。 ・医療政策は、医療計画が独立して存在するのではなく、各種疾病対策としての政策、診療報酬による対応などトータルで効果を発揮することを理解する。 ・医療計画に記載される事項の奥にある政策課題とその対応の方向性についても理解を深める。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/8	18:00-19:30	共用講義室1	実践を通じた地域医療構想の実現(仮)	CHCP 地域ヘルスケア連携基盤の小嶋秀卓氏を交え、分散する医療資源の効率的活用方策と促進のための政策について考える。	岡田 就将, 小嶋 秀卓
2	5/8	19:40-21:10	共用講義室1	医師等の働き方改革について(仮)	林修一郎・厚生労働省医事課長を交え、医療機能を維持しつつ、勤務医等の労働環境を改善するための方策を考える。	岡田 就将, 林 修一郎
3	5/15	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	メンタルヘルス・子育て支援の現状と課題(仮)	わが国の最も重要な社会課題であるメンタルヘルス対策・子育て支援について、エビデンスを踏まえた政策のあり方を考える。	岡田 就将, 伊角 彩, 土井 理美

4	5/15	19:40-21:10	遠隔授業 (同期型)	わが国の疾病対策行政の現状と今後の方向性(仮)	政府のがん対策の統括を担った原澤朋史氏を交え、我が国の疾病対策の今後を考える。	岡田 就将, 原澤 朋史
5	5/22	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	介護保険の今後の方向性(仮)	古元重和・厚生労働省老人保健課長を交え、介護サービスの今後の方向性等について考える。	岡田 就将, 古元 重和
6	5/22	19:40-21:10	遠隔授業 (同期型)	わが国の診療報酬制度の今後の方向性(仮)	木下栄作・厚生労働省保険局医療技術評価推進室長を交え、我が国の公的医療保険制度の現状と課題について考える。	岡田 就将, 木下 栄作
7	6/5	18:00-19:30	共用講義 室1	わが国の健康危機管理の現状と課題(仮)	大規模災害や新興再興感染症など一層重要性が高まる健康危機管理について、常に最前線での対応に当たってきた厚生労働省医系技官の寺谷俊康氏を交え、政策の課題と対応策について考える。	岡田 就将, 寺谷 俊康
8	6/5	19:40-21:10	共用講義 室1	行政が起点となる医療機能の分化連携の方向性(仮)	神奈川県で保健医療部長を務めた厚生労働省医系技官の高山啓氏を交え、行政が起点となる医療介護連携の可能性について考える。	岡田 就将, 高山 啓
9	7/3	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	わが国のデータヘルズ改革について(仮)	データヘルズ改革を担う厚生労働省の田中彰子参事官を交え、データヘルズ改革の現在地、今後の方向性を考える。	岡田 就将, 田中 彰子
10	7/3	19:40-21:10	遠隔授業 (同期型)	疾患データベースと創薬応用について(仮)	厚生労働省において、わが国で最も大規模な疾患データベースであるがん登録制度を担当し、現在は製薬企業での創薬研究に従事している渭原克仁氏を交え、疾患データベースの構築及び利活用の方向性を考える。	岡田 就将, 渭原 克仁
11	7/24	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	公立病院の現状と課題～千葉県を例に～	昨年11月の総合救急災害医療センターの開設を主導した千葉県病院局長・山崎晋一郎氏を交え、公立病院の今後の方向性について考える。	岡田 就将, 山崎 晋一郎
12	7/24	19:40-21:10	遠隔授業 (同期型)	病院・介護施設の立て直し戦略について(仮)	厚生労働省医系技官として2014年診療報酬改定をとりまとめ、診療報酬を熟知した経営者として病院立て直しなどの実績のある一戸和成氏を交え、医療機関等の経営とは何か、立て直しに必要なことなどを考える。	岡田 就将, 一戸 和成
13	7/30	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	日本における感染予防対策の構築	院内感染対策の変遷をからみた国の感染症対策を考える。	岡田 就将, 具 芳明
14	7/30	19:40-21:10	遠隔授業 (同期型)	科学的介護の方向性(仮)	自らも病院・介護施設を経営し、同時に、介護業務システムの構築にも取り組む前田俊輔氏を交えて、LIFEの普及の先にある介護サービスについて考える。	岡田 就将, 前田 俊輔
15	7/31	18:00-19:30	大学院講 義室2	今後の医療人材の育成について～千葉県にお	千葉大学次世代医療構想センターの吉村健佑教授を交え、医師偏在対策	岡田 就将, 吉村 健佑

				けるキャリア構築支援 から見えてきたこと～ (仮)	の今後の方向性等について考える。	
16	7/31	19:40-21:10	大学院講 義室 2	ポスト地域医療構成とは (仮)	国と県の双方で医療政策に従事し、医 療政策を熟知した佐藤理氏を交え、今 後の医療政策の方向性について考え る。	岡田 就将, 佐藤 理

授業方法

講義形式、討議、発表、事例検討などによる。

授業内容

医療計画制度総論、医療計画制度各論、疾病対策として施策体系を理解する。

成績評価の方法

成績評価は、テスト結果または提出されたレポートや発表の内容(50点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(50点)を総合して評価する。

成績評価の基準

上記合計で 60 点以上(100 点満点)を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

厚生労働省／中央社会保険医療協議会(資料・議事録)

厚生労働省／社会保障審議会医療部会(資料・議事録)https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000210433_00036.html

厚生労働省／第8次医療計画等に関する検討会 <https://www.mhlw.go.jp/content/001032133.pdf>

厚生労働省／がん対策推進協議会(資料・議事録)

厚生労働省／循環器病対策推進協議会(資料・議事録)

厚生労働省／精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000152029_00003.html

などの公的資料を確認すること。

試験の受験資格

講義日の過半数出席の場合に受験資格を認める。

構成ユニット

医療法、医療計画、基準病床、地域医療構想、病床機能報告制度、5疾病6事業在宅、がん基本計画、循環器基本計画、精神保健福祉、介護保険制度

モジュールの単位判定

成績評価は、提出されたレポートや発表の内容(50点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(50点)を総合して評価する。

教科書

教科書は指定しない。

参考書

遠隔医療が高齢者医療を救う：AIがひらく個別化医療の時代／前田 俊輔, 1968-, 前田俊輔 著:PHP 研究所, 2017.5

医良戦略2040：2040年の医療を生き抜く13の戦略／千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター, 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター 編, 宮田裕章 [ほか] 著:ロギカ書房, 2022.4

①「日本の医療 制度と政策(増補改訂版)」島崎謙治(東京大学出版会)

②「公衆衛生の思想」多田羅浩三(医学書院)

③「日本の医療と介護」池上直樹(日本経済新聞出版社)

④「この国の医療のかたち 医療政策の動向と課題 2025年のヘルスケアシステム」尾形裕也(日本看護協会出版部)

⑤「ビッグデータと事例で考える日本の医療・介護の未来」松田晋也(勁草書房)

⑥「医療経済学の基礎理論と論点 講座 医療経済・政策学」第1巻～第6巻(勁草書房)

⑦「医療経営学」今村知明, 康永秀生他(医学書院)

⑧「もっと気になる社会保障」権文善一(勁草書房)

⑨「戦後医療の五十年」有岡二郎(日本医事新報社)

⑩「戦後行政の構造とディレンマ 予防接種行政の変遷」手塚洋輔(藤原書店)

⑪「物語 介護保険」大熊由紀子(岩波書店)

<p>⑫「精神保健学 序説」篠崎英夫(へるす出版) その他必要に応じて指示する。</p>
<p>他科目との関連 「医療保険論」「医療機能評価」「医学概論」と関連する。</p>
<p>履修上の注意事項 総合討論などには積極的な参加が望まれる。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 岡田 就将:sokd.hcm@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 岡田 就将:毎週水曜日PM1:00-PM3:00 MDタワー16階南 事前にご連絡ください。</p>

時間割番号	031622				
科目名	病院設計・病院設備			科目ID	GA—b4061-L
担当教員	伏見 清秀, 藤井 晴行, 伊藤 昭, 沖 拓弥, 近藤 彰宏[FUSHIMI KIYOHIDE, FUJII HARUYUKI, ITOU Akira, OKI Takuya, KONNDOU Akihiro]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1~	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 遠隔講義(同期型)					
授業の目的、概要等					
<p>授業目的 医療施設及び付属設備の目的、構造、機能、役割などについて、建築設計・建築計画という観点から理解する。医療マネジメントの専門家として、医療施設の建築や維持管理などに必要な知識を習得する。建築に関する教養と一般知識を身につける。</p> <p>概要 各種病院施設の地域的計画、全体計画、各部門(病棟・外来・診療・供給・管理等)計画の基礎的事項について、人・物・情報の流れ、建物形態、面積規模、施設利用者への配慮等の観点から講述する。また、病院施設に求められる物理化学的環境とそれを創出する設備(空調和・給排水衛生等)について実際の病院施設の事例をふまえて講述する。</p>					
授業の到達目標 病院施設の計画に関わる基礎的事項の修得、病院設備のメカニズムの修得					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/19	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	建築計画概論	藤井 晴行
2	9/20	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	病院施設の計画・設計	沖 拓弥
3	9/24	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	病院施設のマネージメント	近藤 彰宏
4	9/25	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	病院設備のメカニズム	伊藤 昭
授業方法 講義形式による。					
授業内容 ① 建築計画概論(藤井) ② 病院施設の建築計画と設計の概要(沖) ③ 病院設備の概要とメカニズム(伊藤) ④ 病院施設のマネージメント(近藤)					
成績評価の方法 課題レポート評価による(100点)。実在の施設(医療施設が好ましいが、文教施設、娯楽施設など、用途は問わない)の現況に関わる問題に注目し、施設の改善及び運用の改善による解決方法を考える課題を出題する。問題設定の適切さ、解決方法の提案から伺える当事者意識、解決方法の内容などを評価対象とする。課題講義への参加(出席及び質疑応答)は課題遂行にとって必須である。					
準備学習等についての具体的な指示 ・履修者の関わる(或いは訪れた)医療施設にて、医療施設にて建築がつくる環境と人々(医療従事者や利用者など)との関わり方、設備(電気・空調・衛生・搬送)システムが支える機能や求められる性能などを意識して観察する。					
参考書 TBA					
履修上の注意事項 「6.2 衛生工学・汚染管理」との関連性は特に高く、先に本科目を履修しておくことが望ましい。また、医療の質の確保と危機管理系の各科目の基礎科目として密接に関連するものである。					
備考 特になし。					

連絡先(メールアドレス)

藤井 晴行:fujii.h.aa@m.titech.ac.jp

オフィスアワー

藤井 晴行:担当教員の本務地が講義キャンパスと異なるため, E-mail 及びアポイントにより対応する。

時間割番号	031623				
科目名	衛生工学・汚染管理	科目ID	GA—b4062-L		
担当教員	伏見 清秀, 鍵 直樹, 伊藤 昭, 海塩 渉[FUSHIMI KIYOHIDE, KAGI NAOKI, ITOU Akira, UMISHIO Wataru]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1~	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 遠隔講義(同期型)					
授業の目的、概要等 授業目的 本科目では、以下の点を含めた汚染管理の基礎的知識を修得させることを目的とする。 ・病院施設の汚染管理の原則 ・病院施設の空調・給排水設備 ・病院建築計画と感染管理 概要 医療施設における衛生的環境の確保は、病院内感染の予防に向けた重要な課題である。本科目では、施設の汚染管理の面から、汚染管理の原則、隔離手法、汚染源と汚染物質、空気清浄と空調和、水利用、クロスコンタミネーションの防止、病院の廃棄物と処理、エネルギー管理などについて講述する。					
授業の到達目標 医療施設の管理運営や医療政策の実務を専門とする者は、医療施設内の衛生に関わる工学の基礎的知識を有し、汚染管理の基本理念を理解している必要がある。本科目では、建築学や経営管理学などの工学分野における学部教育に準じた知識の修得を目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	病院施設の汚染管理の原則	鍵 直樹
2	10/1	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	病院施設の空調・給排水設備	海塩 渉
3	10/2	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	建築計画と感染防止の考え方	伊藤 昭
4	10/3	18:00-21:10	遠隔授業(同期型)	感染防止の具体	伊藤 昭
授業方法 講義形式による。					
授業内容 1 病院施設の汚染管理の原則(鍵) 2 病院施設の空調・給排水設備(海塩) 3 建築計画と感染防止の考え方(伊藤) 4 感染防止の具体, ほか(伊藤)					
成績評価の方法 講義への参加状況(30%)、演習(20%)、レポート(50%)により評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 特に必要は無いが、講義に伴う演習等の復習を必要とする。					
参考書 未定					
他科目との関連 汚染管理には施設・設備の設計が大きく関わるため、「6.1 病院設計・病院設備」を履修していることが望ましい。					
備考 特になし。					
連絡先(メールアドレス) 鍵 直樹:kagi.na@n.titech.ac.jp					

オフィスアワー

鍵 直樹オフィスアワーは特に定めませんが、授業内容の問い合わせに関しては、電子メールで連絡を取ることで、適宜これに対応する

時間割番号	031627				
科目名	人的資源管理	科目ID	GA-b4081-L		
担当教員					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1~	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
授業の目的、概要等					
2024 年度は休講					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	031640					
科目名	医療とリーダーシップ			科目ID	GA-b4026-L	
担当教員	岡田 就将, 田中 雄二郎, 江崎 禎英, 國光 文乃, 藤井 靖久, 倉持 仁, 井原 正裕, 矢沢 知子[OKADA Shuushou, TANAKA YUJIRO, ESAKI Yoshihide, KUNIMITSU Ayano, FUJII YASUHISA, KURAMOCHI Jinn, IHARA Masahiro, YAZAWA Tomoko]					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1~	単位数	1	
実務経験のある教員による授業						
全て日本語で行う。						
主な講義場所						
原則、遠隔(同期型)で行う。						
授業の目的、概要等						
授業目的 医療に関係する組織運営や政策決定に必要なリーダーシップおよびそれを支える方法論について理解する。						
概要 病院など医療に関係する組織の運営には、雇用する職員の特殊性や提供するサービスの公共性、サービスの対価として得られる報酬など、他のサービスを提供する組織運営とは異なる点が多い。また、医療等のニーズは変化(中長期的な変化とともに危機対応など短期的なものも含む)が見込まれており、その変化を先取りした組織転換を主導するリーダーシップへの期待は大きい。このことは、固有の組織のみならず、医療政策そのものについても言える。本科目では、各分野の識者からの講話等を通じて、保健医療分野での組織運営や政策決定におけるリーダーシップの発揮を可能とする要因を理解し、それを支える方法論についても学ぶこととする。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・医療に関係する組織の特殊性を理解できる。その特殊性を理解したうえで、リーダーシップの発揮について自らの見解を述べることができる。 ・医療に関係する政策の企画立案実行の特殊性を理解できる。その特殊性を理解したうえで、リーダーシップの発揮について、自らの見解を述べることができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	7/22	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	人生 100 年時代の医療の在り方(仮)～内因性マルチファクター型疾患の予防や進行抑制～	経済産業省でヘルスケア政策を牽引された江崎禎英氏を交え、今後の医療の在り方を考える。	江崎 禎英, 岡田 就将
2	7/22	19:40-21:10	遠隔授業 (同期型)	医療政策の策定における政治のリーダーシップ(仮)	厚生労働省医系技官から衆議院議員に転身された國光文乃氏を交え、我が国の医療政策における政治の役割を考える。	國光 文乃, 岡田 就将
3	7/23	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	ポストコロナの病院経営(仮)	本学附属病院長の藤井靖久氏を交えて、厳しい経営環境の中での大学病院経営を考える。	藤井 靖久, 岡田 就将
4	7/23	19:40-21:10	遠隔授業 (同期型)	コロナ対応の最前線から見たリーダーシップ(仮)	コロナ発生当初からコロナ対応の最前線で活躍された倉持仁氏を交え、診療所経営におけるリーダーシップを考える。	倉持 仁, 岡田 就将
5	7/25	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	地域の拠点病院経営におけるリーダーシップ(仮)	千葉県南部の急性期医療を担う鉄蕉会亀田総合病院の亀田隆明氏を交え、リーダーシップの在り方を	岡田 就将

					考える。	
6	7/25	19:40-21:10	遠隔授業 (同期型)	病院の組織特性を踏まえたリーダーシップ発揮の心構え(仮)	京都大学やJCHOで病院経営に従事した井原正裕氏を交えて、医療機関経営におけるリーダーシップの在り方を考える。	井原 正裕 岡田 就将
7	7/29	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	大学経営におけるリーダーシップ(仮)	大学統合を目前に控え、今後の学生教育の在り方などを考える	田中 雄二郎 岡田 就将
8	7/29	19:40-21:10	遠隔授業 (同期型)	政策の立案プロセスとリーダーシップ	東京都での地域医療構想策定や新型コロナ対応を踏まえて、東京都の政策プロセスの実際を考える。	矢沢 知子, 岡田 就将

授業方法

講義形式、討議、発表、事例検討などによる。

授業内容

別表の通り

成績評価の方法

成績評価は、テスト結果または提出されたレポートや発表の内容(30点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(70点)を総合して評価する。

成績評価の基準

上記合計で60点以上(100点満点)を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・「コロナ禍を探る」(医科歯科大公報誌)https://www.tmd.ac.jp/files/topics/55825_ext_26_0.pdf
- ・「コロナ禍を探る2」(医科歯科大公報誌)https://www.tmd.ac.jp/files/topics/56865_ext_26_0.pdf

試験の受験資格

講義日の過半数出席の場合に受験資格を認める。

構成ユニット

政治と行政、大学の役割、人材育成、組織経営(大学、病院、介護施設等)、政策リーダーシップ

モジュールの単位判定

成績評価は、テスト結果または提出されたレポートや発表の内容(50点)と講義への出席および総合討議等への参加状況(50点)を総合して評価する。

教科書

社会は変えられる：世界が憧れる日本へ／江崎禎英著、江崎 禎英、国書刊行会、2018

特に指定しない。

参考書

防災白書(内閣府)など

他科目との関連

「医療提供政策論」「医療保険論」と関連する。

履修上の注意事項

総合討論などには積極的な参加が望まれる。

連絡先(メールアドレス)

岡田 就将:sokd.hcm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

岡田 就将:毎週水曜日PM1:00-PM3:00 MDタワー16階南

事前にご連絡ください。

学生の出欠確認について Attendance System

学生の出欠確認については、原則として、カードリーダーで学生証を読取る手法を導入しています。授業開始前に、下記の方法で行ってください。

但し、授業により他の手法をとる場合もありますので、その場合は担当する先生の指示に従ってください。
※2コマ、3コマ続きの講義の場合、各講義開始前に毎回カードリーダーにタッチすること。

ただし、初期研究研修については、出席した日の初回のみでのタッチで可（毎日カードタッチは必要。）

※カードリーダーにタッチした際、カード読み取り部分が青く反応したことを確認すること。

※学生証単体でタッチすること。（財布などに他のIC入りカードが入った状態で財布のままタッチすると、青く反応しても、他のカードが反応し、出席に反映されないことがあるため注意してください。）

※学生証を忘れた場合の出席について

学生証を忘れ、出席管理システムに学生証をかざすことが出来なかった場合、講義に出席したとしても、欠席とみなします。学生証は常に携帯してください。

Basically, your attendance will be taken by the attendance system. Please make sure to pass your student ID card over the system roughly 10 minutes prior to each lecture starts. But for some lectures, it will be recorded in other way. Please follow the instruction of the instructor.

*Even when two or three lectures of the same course are held continually, please pass your ID card over the system each time before a lecture starts.

*Please check if the system flash in blue after you pass your ID card. Blue flash means your card was successfully read by the system.

*Please pass your student ID card along over the system separating from other the cards with IC tip, otherwise the system cannot read your students ID card correctly.

* If you did not pass it over the system or could not do so for not having your student ID card, then your attendance will not be counted and recorded as “absent.”

1. 下の写真のように、各講義室等にカードリーダーが備え付けてあります。



Attendance System are usually on the wall of the lecture room.

2. カードリーダーのタッチパネル面に、学生証をかざしてください。



ここにタッチ！
Please pass your ID over!



Please pass your student ID over the system.

3. パネルが青く光れば読取完了です。赤く光った場合は読取不能ですので再度行ってください。



Flash in Blue
→ Read Successfully

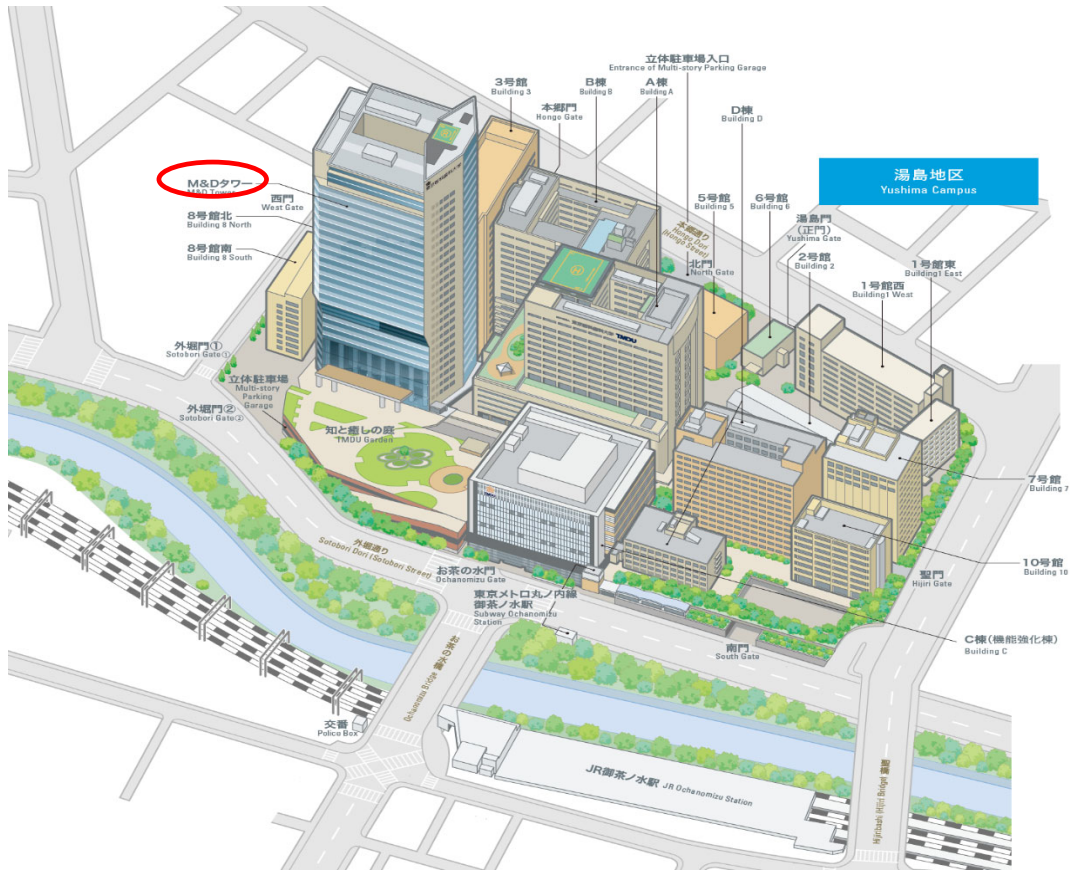
読取完了○



Flash in Red
→ Failed to read and try again.

読取不能×

東京医科歯科大学M&Dタワー



【最寄り駅】JR中央線・総武線御茶ノ水駅下車御茶ノ水橋口
東京メトロ丸ノ内線御茶ノ水駅下車1番出口

- ① お茶の水門から入り、立体駐車場に沿って直進してください。※工事のため通路が狭くなっております
- ② 救急入口が見えますので、そのまま車にお気をつけて、左手に見えるM&Dタワーの1階入口へと進んでください。
- ③ 入口横のカードリーダーに受講証（もしくは本学職員証）をかざし、開錠をお願い致します。
- ④ 建物に入られてお進み頂くと右手に階段がありますので、共用講義室1・2の場合は2階へ、大学院講義室2の場合は13階へお上がり下さい。
階段を過ぎたところに、エレベーターもございます。その先は下記フロアマップに従ってお越しください。

〔フロアマップ〕

